

身近な人と死別した

一般社団法人グリーフサポートせたがや「サポコハウス」

www.sapoko.org

こどもの グリーフサポート プログラム





Q1

こどもグリーフサポートプログラムってなに？

おかあさん、おとうさん、おじいちゃん、おばあちゃん、きょうだい、
おともだちなど、身近な人と死別したこどもたちがあつまって、
おもちゃであそんだり、絵をかいたり、おしゃべりしたり、本を読んだり、
ぼーっとしたり、自分の好きなことをして自由にすごします。

Q2

いつあるの？

毎月第3土曜日の
午前11時～12時半にあります。
こどもは参加費いりません。
(おとなは一人500円)



これまで参加した人のことば

「ここでは死んだ人の話をしてもいいんだ。

ヤッター！」(小学生)

「今日は楽しかった。

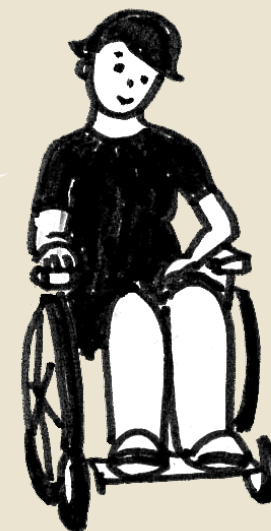
自由にできたから」(小学生)

「本当はわたしが来たかったんだって
気づきました」(保護者)

「ここに来たことではじめて
親子でいっしょに泣けました」(保護者)

3 歳～18 歳のこどもと中高生です。「いつ、だれが、どのように」
死んだかに関係なく参加できます。世田谷区以外の人でも参加できます。
こどもサポートプログラムをしているあいだ、保護者はおとなの部屋で
おしゃべりをしたりしてすごします。

Q3
だれが参加できるの？



Q4
なにをするの？



11:00 はじまりの輪

サポコハウスのルールをみんなで読みます。
なまえやだれが死んだかを話すよ。話したくないときは
話さなくてもいい「パス」ルールもあるよ。

11:05 あそびの時間

なにをしてもいいし、なにもしなくてもいいよ。
終わりの輪の 10 分前と 5 分前に鐘が鳴るよ。

12:25 おわりの輪

その日にしたことを話すよ。

12:30 おわり

サポコハウスってこんなところ！

(見取り図：栗田さおり foto: kayin デザイン: design301)

火山の部屋



モノを投げても OK

サポコ文庫



本の貸出もできます

建物1階の自動ドアを入ると
エレベータがあり、
バリアフリーの内玄関から入れます。

おとなの部屋



階段下のこの
サインが目印です

中学生・高校生の部屋



リビング



方々みの部屋



中学生・高校生の部屋

こどもの場所 (こどもだけの場所。おとなははいれません)

おとなの部屋 (こどもはいつでもはいれるよ)

サポコハウス 6つのルール

「わたしも大事、あなたも大事」
にするためのルールです。
ファシリテータとよばれる研修を受けた
おとながみんなと一緒にすごします。
おとなもルールを守ります。

「パス」ルール。
話したくないときは
話さなくてもいいです。

「ないしょ」は「ないしょ」。
サポコハウスで聞いた
お友達の話は
外では話しません。

「やめて」と
いわれたことは
やめます。

たたいたり悪口を
いったりしません。
自分もほかの人も
傷つけません。

モノを投げたりしません。
火山の部屋は OK。

必ず
ファシリテータと
一緒にいます。

